

平成28年度 第3回 長浜市子ども・子育て会議 要点録

日時 平成29年3月16日(木) 午前10時00分～12時15分
場所 長浜市役所西館1階 多目的ルーム1
出席者 西川委員、井関委員、妹尾委員、宮崎委員、服部委員、横山委員、野田委員、
長委員、吉井委員、熊谷委員(10人)
【事務局】健康福祉部長：市川、幼児課：川瀬、横田、森
子育て支援課：若林、益田、前畷、涌井
欠席者 大橋委員、織田委員、前田委員、山仲委員、池田委員(5人)
傍聴者 なし

《開会》

事務局

定刻になりましたので、ただ今から「平成28年度第3回長浜市子ども・子育て会議」を開催します。

本日の傍聴者はおられませんが「附属機関等の会議の公開等に関する要綱」に基づき、本会議は公開となっていますのであらかじめご了承願います。

事務局

健康福祉部長よりごあいさつ申しあげます。

《部長あいさつ》

事務局

本日の資料の確認をさせていただきます。

- ・次第
- ・資料1、2、3-1、3-2、5、6-1、6-2

参考資料としまして、

- ・長浜市子ども・子育て支援事業計画概要版
- ・平成29年度予算(案)の特徴

お手元がない場合はお知らせください。

また、本日、大橋委員、織田委員、前田委員、山仲委員、池田委員から欠席の連絡をいただいておりますが「子ども・子育て会議規則第4条第3項」に規定する過半数の出席がありますので、本会議は成立することをここにご報告いたします。

では、議事に入りたいと思います。「子ども・子育て会議規則第4条第2項」により「会長は会議の議長となる」とありますので、ここからの進行は西川会長をお願いいたします。

西川会長

皆さん、おはようございます。

本日は第3回目になります。第1回目から活発なご意見をいただいております。

す。市としてもいろいろな取り組みをされていて、数値からも現状が分かるのではないのでしょうか。そあたりについて、忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。

では、(1)長浜市子ども・子育て支援事業計画について①教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の見込みと提供体制についてということで、事務局から説明をお願いします。

事務局

《長浜市の現状について》

人口減少、出生数の減少、女性の労働力率の上昇など

《保育所等の量の見込みと提供量について資料4、5により説明》

《放課後児童クラブの量の見込みと提供量について資料4、6-1、6-2により説明》

《子育て支援拠点事業について資料4により説明》

西川会長

ありがとうございました。

今日の会議の目的は、資料4にあります数字の修正の承認です。これに関してご意見をいただくのですが、その前に、今のご説明で分かりにくかったところなどありましたら、お願いします。

では、私からお聞きします。数値の見込みを修正されていますが、数値の修正はどのようにされましたか。

事務局

幼稚園、保育所に関しては、申し込みの数、入所の数など実績に基づいて見込みを出しました。

放課後児童クラブにつきましても実績に基づいた伸び率を予測し数値を出しております。

西川会長

ありがとうございます。

では、ご意見は何かありますか。

計画と齟齬ができてきているのは、長浜市に限ったことではありません。どこの市町でも起きていることです。この量の確保をどうしていくかが問題ですが、このことについてご意見ありますか。

吉井委員

保育園に預けない人数はどれくらいおられますか。

事務局

資料5の4番の就園率がありますが、その就園率の反対が未就園率です。
具体的な人数で言いますと、0歳児が900人くらいいて、入園されるのはその31.9%と見込んでいますので280人くらい、620人くらいが家でみておられると考えています。

吉井委員

資料的に、放課後児童クラブについて、具体的な名称があると分かりやすいと思います。

平成29年度の数字は、平成27年度、28年度はまかなえているということですか。

事務局

平成27年度、28年度はニーズ量がまかなえていたということだけではなく、ニーズ量も大幅に違ってきていたので、平成29年度以降のニーズ量と提供量の両方を修正したいということです。

西川会長

見込みは出していてこれをまかなえていることに満足せず、供給に対しても努力はしてきたが、数字が明らかに違うので計画の中間年の29年度に見直しをして目指していこうという流れですね。その数値の見直しをどう考えるかですね。

確保方策について最大限に努力はされているが、保育2号3号はどうしても待機児童が出てしまうということですね。

事務局

今のところ、取組を進めていくとしかお答えできません。

西川会長

最大限努力はしているが伸びに追いつかないというところですか。

熊谷委員

西浅井で放課後児童クラブをしていますが、今のお話はとても実感できます。人口は減ってきているが、入所希望者は増えているということ。それに伴って支援員の確保が必要なのですが、なかなか難しくなっています。

西川会長

人材確保という貴重なご意見をいただきました。

事務局

民間でも人材の確保に苦勞しておられるとお聞きしています。どこも一緒です。基本的に放課後児童クラブは、午後からの勤務になりますので、支援員の確保に苦勞しています。一旦退職した人に来ていただくようにはたらきかけることと、働き方改革もしていけないと痛感しています。

吉井委員

預かる人は素人でもいいのですか。

事務局

資格が必要ですが、入ってから研修に行ってもらえますので、なくても良いです。

吉井委員

何かあった時に、誰が責任取るのかということが問題になると思うのですが。

事務局

保険ももちろん加入していますが、基本は子どもが好きで、保護者とのコミュニケーションがとれていたらトラブルは防げるのではないかと思います。

西川会長

保険の話がありましたが、社協の一時的なボランティア保険だけではなく、放課後児童クラブ全体の何かあった時の補償的な保険に加入しているということですか。

事務局

そうです。

西川会長

人材確保と地道な働きかけ、数と質の確保の両立の難しさなどのお話をいただきましたが、他に何かご意見ありますか。

井関委員

資料4の子育て拠点の年間ニーズ量ですが、34,000とすごく数が増えたようにみえますが、この数字はどのように出されたのですか。

事務局

利用者数の実績に基づいて出した数です。

また、拠点の数を1カ所増やしたところは、0歳児に特化した、専門職が常駐する施設で、利用者が安心して相談できる場所となっています。

西川会長

コミュニティという形で、保育所に行かなくても子育て支援センターで子育て相談ができるということで、これからもっと増えていくかもしれませんね。

安心して利用できる場所ということで、質の確保にもつながると思います。貴重なご意見いただきましたので、ご努力いただきたいと思えます。

では、数値の説明やそれに向けての施策についての説明がありましたが、修正の数値について承認していただける方は挙手願います。

ありがとうございます。全員一致で承認されました。

では、次に、報告事項について事務局からお願いします。

事務局

《配布資料 平成29年度予算（案）の特徴により説明》

西川会長

ありがとうございます。

では、時間もあまりありませんが、それぞれのお立場からのご意見を全員の方からお願いしたいと思います。

横山委員

何もなくていいから集まる場所を提供してほしいという声を聞いています。先ほどおっしゃったコミュニティだということだと思います。お金がなくてもできることを考えて、やっていければいいのかなと思います。

服部委員

ニーズが多様化してきているので、対応する提供の仕方はいろいろあると思いますので、民間の拡大も期待します。

宮崎委員

園としては、近年0、1、2歳児が増えています。育児不安を抱えている母親も多い中、責任をもって、一人一人によりそった支援をしていきたいと思えます。

妹尾委員

先ほどの数値は、増加の予測をした過去の分析に基づいた主観的予測でいいですね。

来年度に乳児園を開園するにあたり、職員の確保が大変でした。潜在保育士の掘り起しと保育士の復帰で確保した経緯から、長浜市独自のプラスアルファの支援制度があるといいと思います。

井関委員

地域の人とのかかわりの中で子どもが成長していく姿を見て、子どもの成長が地域に支えられていると感じています。

野田委員

人口は減少するが利用者は増加していくということについて、何ら反対する理由はなかったということをお知らせしておきます。

長委員

居場所づくりが大切だと実感しています。保育所に入れられないお母さん達にエールを送れる、やさしいまちにしていけたらいいなと思います。そういう意味で、パパママリフレッシュ託児事業はとても期待していますので、自分で子どもを育てる楽しさをアピールしていただきたいと思います。

吉井委員

人口減少も、地域によって偏りがあると思いますので、施設展開が大事だと感じました。

市内の企業の育休などの待遇調査のようなものはやっていましたか。

事務局

商工振興課の企業訪問でやっています。

吉井委員

形式的なものになっているので、こちらでしっかりやっていただけるといいですね。

熊谷委員

子育てコンシェルジュのお話がありましたが、支所に保健師が常駐するということではないということですが、西浅井地域も遠いですが、フットワーク軽く来ていただけますよね。

給食費無料になりましたが質を落とさないようにしてほしいという声を聞いていますので、よろしくをお願いします。

西川会長

行政は素晴らしいことをされているのに、市民は知らないという状況です。このあたりの改善が必要かなということを委員の皆さんのお話から感じました。

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。では、事務局にお返しします。

事務局

本日は委員の皆さまにおかれましては熱心にご協議していただきありがとうございました。

西川会長のお話にもありましたように、PRが大事ということで、今年の秋に子育て応援フェスタを開催しますが、そこでしっかり子育て情報についてPRしていきたいと思います。また、委員の皆さまにもご協力をお願いするかもしれませんので、その時はどうぞよろしくお願いいたします。

これで、平成28年度第3回子ども・子育て会議を終了します。

(閉会)